

教科名	家庭科	学年名	第1学年	年間授業時数	35時間	教科用図書名	開隆堂
教科の目標	○ 衣服の選択、着用、手入れと住居の安全で快適な住まい方についての基礎的・基本的な知識及び技術を身につける。 ○ 衣服と住居の機能について関心と理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって衣生活と住生活をよりよくしようとする能力と態度を身につける。					学習の手引き	○ 授業で使うもの 教科書・家庭ワーク ○ 授業の進め方 教科書の内容を中心に行い、家庭ワークを使い、理解を深める。

	学 習 内 容	ね ら い	評 価 の 観 点 ・ 方 法
	・ 衣生活・住生活と自立 ① 住生活の自立 住まいのはたらき・健康で安全な住まい・住まいと地域・これからの住生活と環境 <u>実習</u> ・ 家族の願いと居場所を考える ・ 家族構成でどのような住まい方ができるか考える ② 衣生活の自立 日常着の活用・日常着の手入れ・布を用いた物の製作・環境に配慮した衣生活 <u>実習</u> ・ 自分らしい服をコーディネートする ・ 衣服の取扱い絵表示を読み取る ③ 生活の課題と実践 ・ 用具の使い方・縫い方・ミシンのしくみ、使い方を知る <u>実習</u> ・ 布を用いた物の製作	① 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知る。 家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる。 ② 衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。 衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる。 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。 ③ 服又は住まいに関心を持ち、課題をもって衣生活又は住生活について工夫し、計画を立てて実践できる。 布を用いた物の製作を通して、災害に対する安全対策を考えることができる。	* 各単元の評価の観点、評価の方法 ○生活や技術への関心・意欲態度 衣や住について関心を持ち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。 ○生活を工夫し創造する能力 衣や住について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫して創造している。 ○生活の技能 生活の自立に必要な衣住などに関する基礎的・基本的な技能を身につけている。 ○生活や技能についての知識・理解 家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣住に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

教科名	家庭科	学年名	第2学年	年間授業時数	35時間	教科用図書名	開隆堂
教科の目標	○ 自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣について考える。 ○ 栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考える。					学習の手引き	○授業で使うもの 教科書・家庭ワーク ○授業の進め方 教科書の内容を中心に行い、家庭ワークを使い、理解を深める。

	学 習 内 容	ね ら い	評 価 の 観 点 ・ 方 法
	・食生活と自立 ① 健康と食生活 ・食事の役割について考える ・生活習慣と食事 ・中学生に必要な栄養 ・食品と栄養素 ② 食品の選択と保存 ・食品が食卓にのぼるまで ・生鮮食品と加工食品 ・食品の表示 ・食品の選択・購入と保存 ・食品の安全と情報 ③ 調理をしよう ・調理の計画 ・調理の基本 ・肉の料理・魚の料理・野菜の料理 ④ 地域の食材と食文化 ・地域の食材と郷土料理 ・受け継がれる食文化 ⑤ 持続可能な社会をつくる ・食生活と環境とのかかわり <u>実習</u> ・調理室の使い方 ・肉・魚・野菜を使った調理	① 自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣について考える。 栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考えられるようになる。 ② 食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量について知る。 中学生の1日分の献立を考える。 食品の品質を見分け、用途に応じて選択できる。 ③ 基礎的な日常食の調理ができる。また、安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。 ④ 地域の食材を生かすなどの調理を通して、地域の食文化について理解する。 ⑤ 食生活に関心を持ち、課題をもって日常食又は地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し、計画を立てて実践できる。	＊各単元の評価の観点、評価の方法 ○生活や技術への関心・意欲態度 食生活について関心を持ち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。 ○生活を工夫し創造する能力 食生活について見直し、課題を見つけその解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫して創造している。 ○生活の技能 生活の自立に必要な食生活などに関する基礎的・基本的な技能を身につけている ○生活や技能についての知識・理解 家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な食生活に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

教科名	家庭科	学年名	第3学年	年間授業時数	17. 5時間	教科用図書名	開隆堂
教科の目標	○ 幼児との触れ合いや家族・家庭に関する実践的・体験的な学習活動を通して、幼児に関心と理解を深める。 ○ 自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活について関心と理解を深める。 ○ 家族や幼児に主体的にかかわることができるようになる。 ○ 消費や環境に関する実践的・体験的な学習活動を通して、消費生活と環境についての基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。 ○ 消費者としての自覚を高め、身近な消費生活の視点から持続可能な社会を展望して、環境に配慮した生活を主体的に営む能力と態度を身につける。					学習の手引き	○ 授業で使うもの 教科書・家庭ワーク ○ 授業の進め方 教科書の内容を中心に行い、家庭ワークを使い理解を深める。

	学 習 内 容	ね ら い	評 価 の 観 点 ・ 方 法
	家族と家庭生活 ① わたしの成長と家族・家族・地域 ・わたしの成長と周囲の人びと ② わたしたちと家族・家庭と地域 ・家庭のはたらき ・家庭の仕事を支える社会 など ③ 幼児の生活と遊び ・わたしの成長をたどる ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の心身の発達と家族の役割 など ④ 幼児とのふれ合い ・ふれ合い体験 ⑤ これからのわたしと家族 ・中学生と家族とのかかわり ・これからのわたしと家族との関係 ⑥ 持続可能な社会をつくる ・世代を超えた人びとと交流して 身近な消費生活と環境 ① 家庭生活と消費 ・消費生活のしくみ ② 商品の選択と購入 ・生活購入のプロセス・生活情報の活用 ・購入方法と支払い方法 ③ よりよい消費生活のために ・契約と消費生活のトラブル ・消費者を支えるしくみ ・消費者の権利と責任を考える ④ 環境に配慮した生活 ・自ら取り組むエコ生活 ・地域や社会での協力 ・持続可能な社会	① 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考える。 ② 家族や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。 これからの自分と家族との関わりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考える。 ③ 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。 幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児の遊びの意義について理解する 幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できる。 ④ 家族又は幼児の生活に関心を持ち、課題をもって家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できる。	＊各単元の評価の観点、評価の方法 ○生活や技術への関心・意欲態度 家族と家庭生活・消費生活について関心を持ちこれからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。 ○生活を工夫し創造する能力 家族と家庭生活・消費生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫して創造している。 ○生活の技能 生活の自立に必要な家族と家庭生活・消費生活などに関する基礎的・基本的な技能を身につけている。 ○生活や技能についての知識・理解 家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な家族と家庭生活・消費生活に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。